

岩手県感染症週報

平成15年第18週（4月28日～5月4日）

岩手県結核 感染症情報センター

第18週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

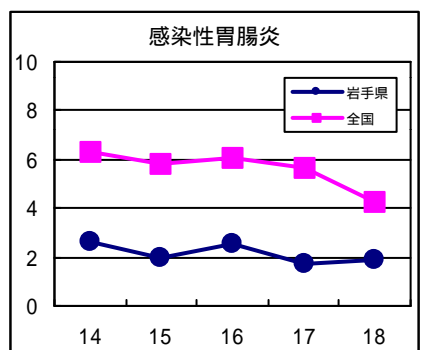
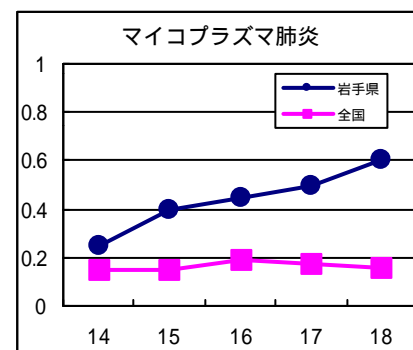
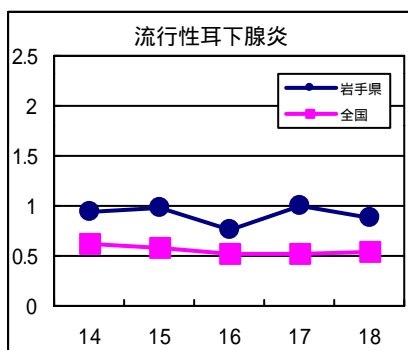
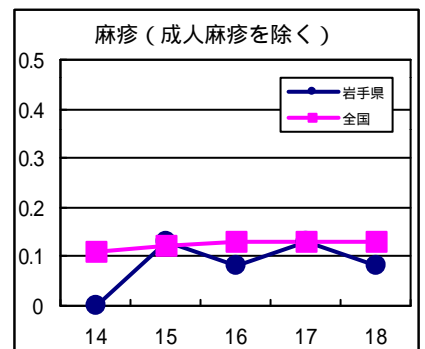
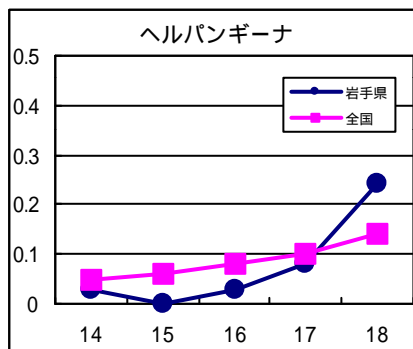
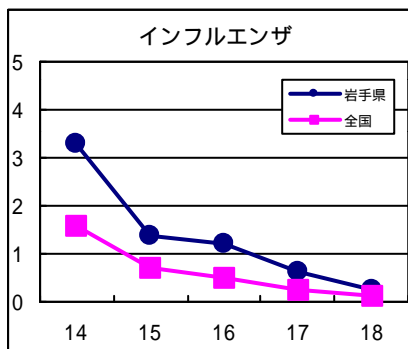
- ・北上地区から急性ウイルス性肝炎の報告が1例ありました。A型肝炎ウイルスによる感染です。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・この週はゴールデンウィーク中ということもあり、患者報告数は前週に引き続き全般的に少なめでした。しかし、夏期の代表的なこどもの感染症であるヘルパンギーナがやや増加傾向にあるなど、これから流行期にはいる感染症もあるので、今後の動きに注意が必要です。
- ・ヘルパンギーナは盛岡地区で患者が発生しており、やや増加傾向にあります。
- ・麻疹は、ここ数週続けて盛岡、大船渡地区で患者が発生しています。今後の動向に注意し、満1歳以上の乳幼児は早めに予防接種を受けることが大切です。
- ・マイコプラズマ肺炎がここ数週増加傾向にあります。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		14	15	16	17	18	
インフルエンザ	岩手県	3.31	1.37	1.21	0.63	0.23	↘
	全国	1.6	0.71	0.51	0.26	0.14	
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.03	0.05	0.08	0	→
	全国	0.07	0.09	0.13	0.16	0.14	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.45	0.55	0.68	0.63	0.76	→
	全国	0.88	0.9	1.2	1.26	1.03	
感染性胃腸炎	岩手県	2.61	2	2.58	1.76	1.89	→
	全国	6.34	5.85	6.05	5.66	4.25	
水痘	岩手県	1.16	1.24	1	1.24	1.03	→
	全国	1.81	1.75	1.57	1.77	1.53	
手足口病	岩手県	0	0	0.08	0.03	0.05	→
	全国	0.13	0.15	0.21	0.24	0.3	
伝染性紅斑	岩手県	0.16	0.34	0.24	0.11	0.18	→
	全国	0.18	0.23	0.28	0.23	0.24	
突発性発疹	岩手県	0.21	0.32	0.47	0.66	0.34	↘
	全国	0.75	0.8	0.82	0.77	0.6	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.04	0.03	0.04	0.04	0.03	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.03	0	0.03	0.08	0.24	↗
	全国	0.05	0.06	0.08	0.1	0.14	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0.13	0.08	0.13	0.08	→
	全国	0.11	0.12	0.13	0.13	0.13	
流行性耳下腺炎	岩手県	0.95	0.97	0.76	1	0.87	→
	全国	0.62	0.58	0.53	0.53	0.54	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.04	0.04	0.04	0.02	0.04	
流行性角結膜炎	岩手県	0.83	1.25	0.5	1	0.83	→
	全国	0.69	0.88	0.81	0.89	0.79	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0.01	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.02	0.03	0.01	0.02	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.25	0.4	0.45	0.5	0.6	↗
	全国	0.15	0.15	0.19	0.17	0.16	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.03	0.05	0.05	0.03	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		14	15	16	17	18	累計	18	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	8
	細菌性赤痢	1	0	0	0	0	7	4	162
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	25
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	2	12
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	12	165
四類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	1	0	2	7	165
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	9
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	17
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	1	0	1	1	6	7	307
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	0	37
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	27
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	5	288
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	23
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	10
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	2	40
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	11
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	1	0	0	0	0	1	5	157
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	22
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	22
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア	0	0	0	0	0	0	2	26	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	44	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

今注目の感染症

重症急性呼吸器症候群（SARS）

[概要]

重症急性呼吸器症候群（SARS）について、世界保健機関（WHO）は昨年11月1日から5月8日までに、世界32カ国・地域でこれまでに7053人が感染し、506人が死亡したと発表しました。

5月7日までに地域内での感染の伝播が確認された地域は以下のとおりです。アメリカとロンドンが同地域から除外されました。新たに中国・天津とモンゴル・ウランバートルが追加されました。

カナダ・トロント	中国・広東省	中国・山西省	中国・内モンゴル自治区
中国・北京	中国・天津	香港特別行政区	台湾
シンガポール	モンゴル・ウランバートル	フィリピン・マニラ	

厚生労働省は5月1日、中国本土と香港からの帰国者に対し、帰国後10日間は 家族・友人を含め、人と会うのは最小限とし、濃厚な接触はさける、 外出時はマスクをできるだけ着用する、 発熱、せき、呼吸困難のうち、ひとつでも症状が出た場合には、予約を取ってから保健所や医療機関を受診する、 帰国者と接触した人に症状が出た場合も、保健所に電話で相談し指示に従う、ことを求めています。

[病原体]

WHOは16日、SARSは新種のコロナウイルスが原因と確認されたと発表し、「SARSコロナウイルス」と命名されました。米疾病対策センター（CDC）では、SARSコロナウイルスのゲノム解析が終了したと発表、解析結果をWeb上で公表しています。

また、SARSウイルスの検出キットはすでに開発されており、国立感染症研究所などの公的検査・検査機関に無償で供給されることになりました。

[症例定義]

厚生労働省は4月8日、SARSに関して症例の報告基準を以下のとおり決めました。

疑い例

2002年11月1日以降に以下の全ての症状を示して受診した患者で

- ・38度以上の急な発熱
- ・咳、呼吸困難感などの呼吸器症状

かつ、以下のいずれかを満たす者

- ・発症前10日以内に、SARSの発生が報告されている地域に旅行した者
- ・発症前10日以内に、SARSの症例を看護・介護するか、同居しているか、患者の気道分泌物、体液に触れた者

可能性例

疑い例であって

- ・胸部レントゲン写真で肺炎、または呼吸窮迫症候群の所見を示す者

または

- ・原因不明の呼吸器疾患で死亡し、剖検により呼吸窮迫症候群の病理学的所見を示した者

[感染経路など]

SARSは最も一般的に、感染性のある飛沫への暴露を伴う密接なヒト-ヒトの接触で、またおそらくは感染性のある体液への直接的接触で、伝播しているようです。WHOは7日、SARSの死亡率は14～15%に達するとした推計を発表しました。

[予防方法]

感染を防ぐ最善の方法は、石けんと水で頻回に手洗いすることです。もし、石けんと水が手に入らない場合にはアルコール製剤で手を消毒して下さい。SARSから身を守るための呼吸器、手袋、あるいはサージカルマスク等の個人用保護具の使用は、医療機関以外の一般職場では、現在勧告されていません。

病原体検出情報

- ・麻疹の患者から麻疹ウイルス遺伝子型H1を1例検出しました。今年に入って2例目です。H1型ウイルスは、WHOの報告では中国や韓国の流行株です。国内ではこれまでD3型やD5型が流行していましたが、近年、国内でも各地でH1型が分離されるようになってきました。日本は麻疹ウイルスの輸出国とされていますが、日本にも近隣諸国から入ってきていると思われる。
- ・感染性胃腸炎の患者からノーウォークウイルス（遺伝子型II）を1例検出しました。
- ・上気道炎の患者から単純ヘルペス1型を1例検出しました。

集団感染情報

この週には、集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

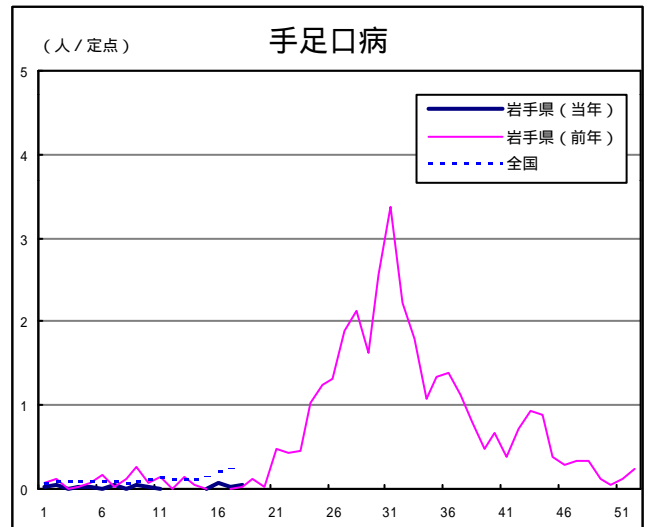
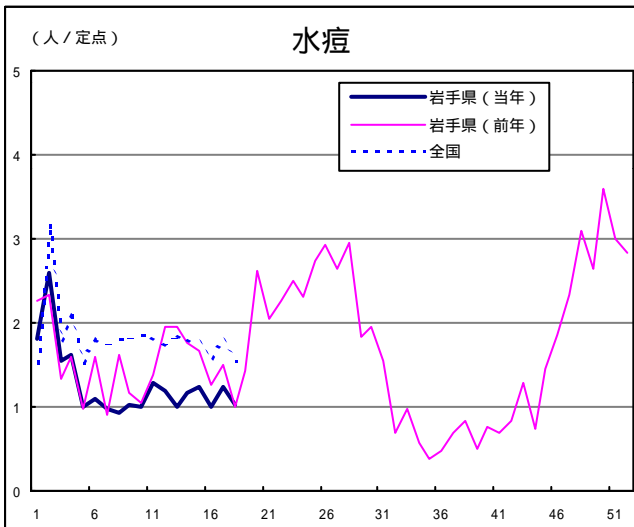
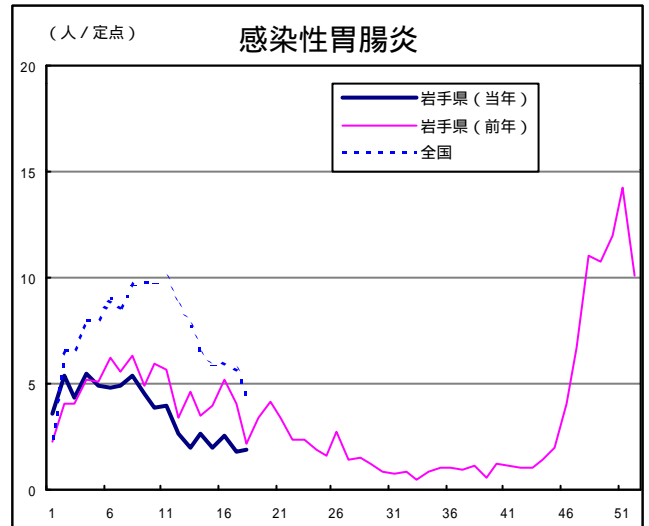
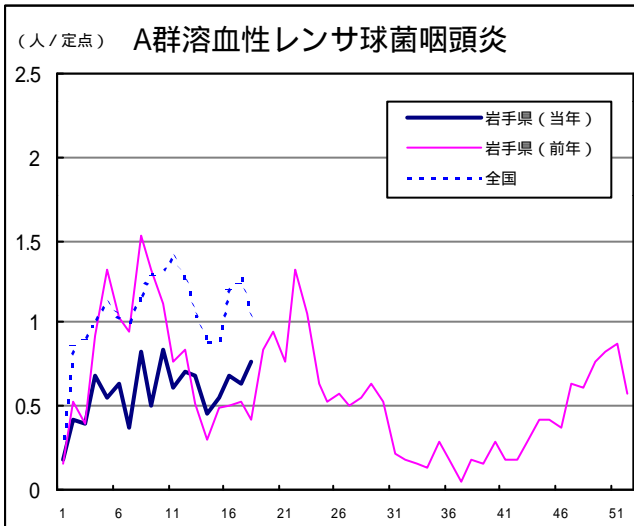
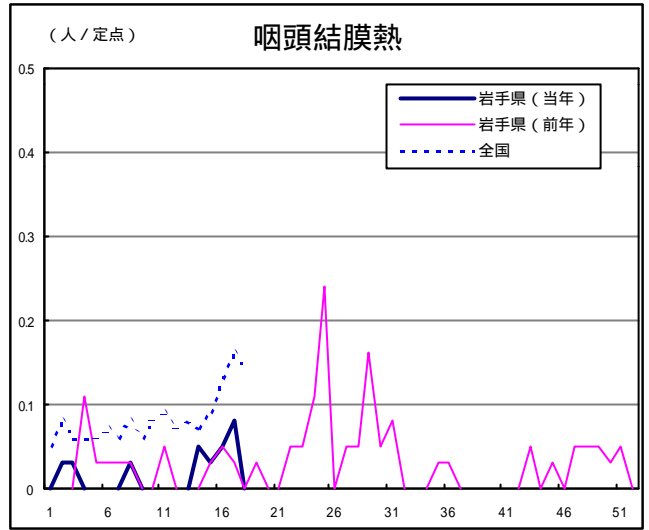
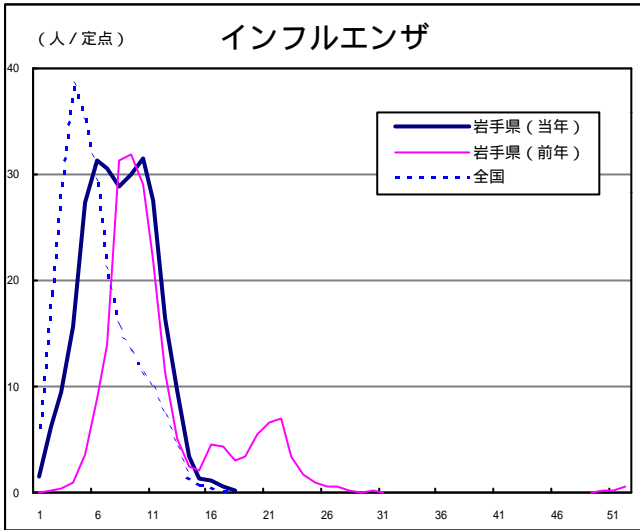
医療機関からの情報はこの欄でご紹介します。

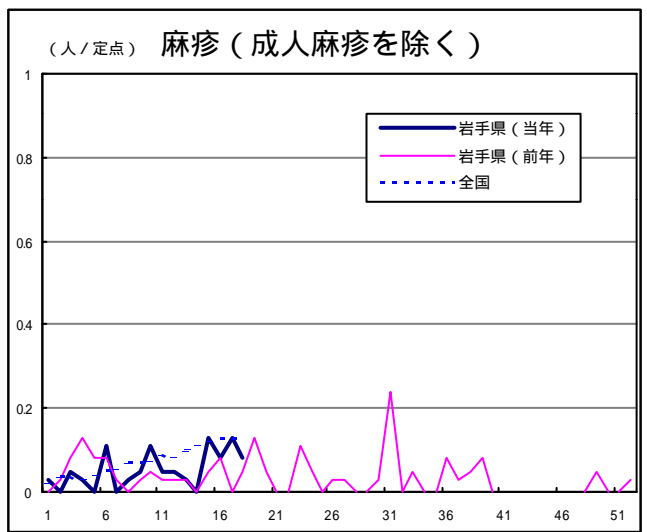
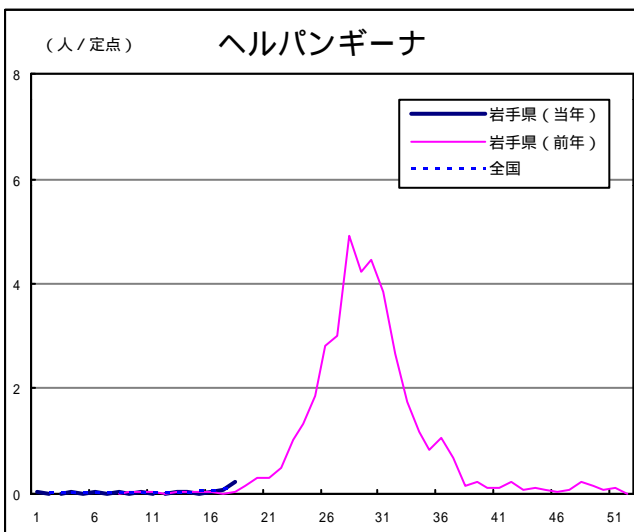
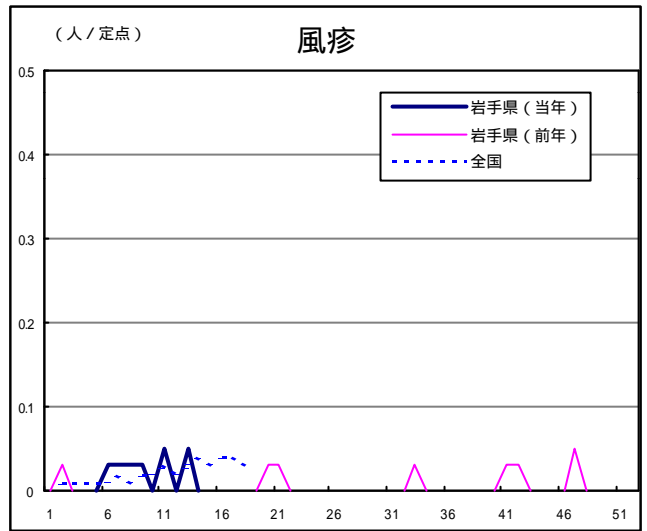
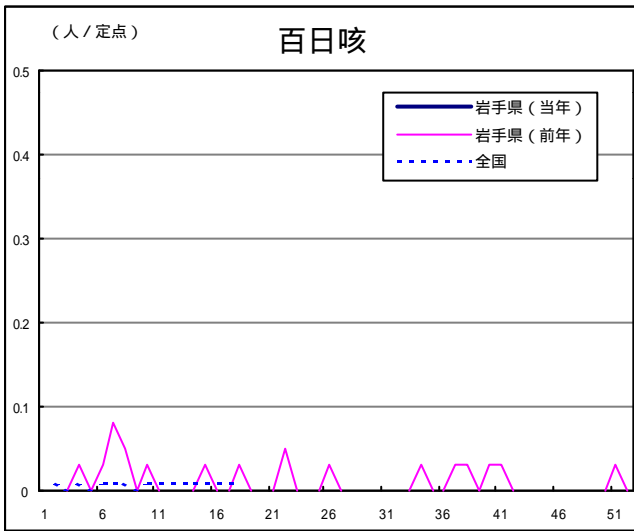
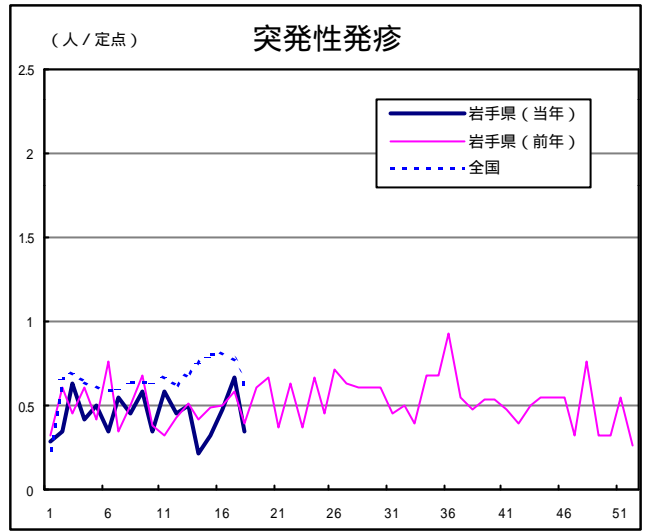
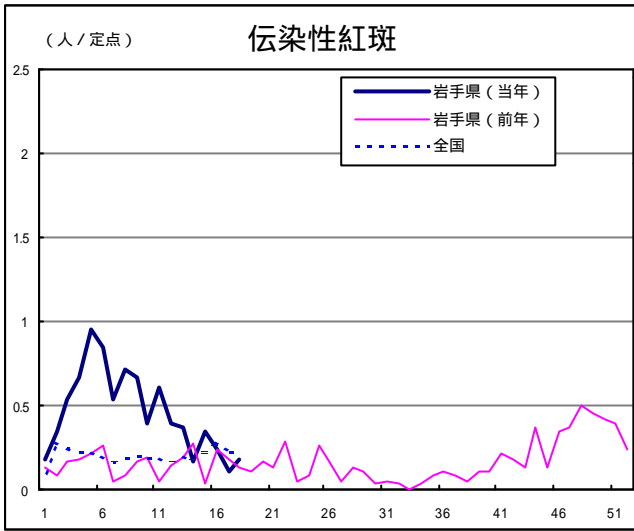
Q & A

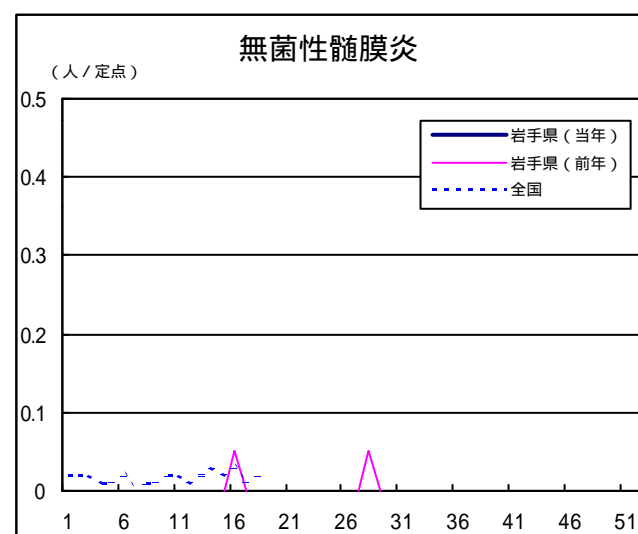
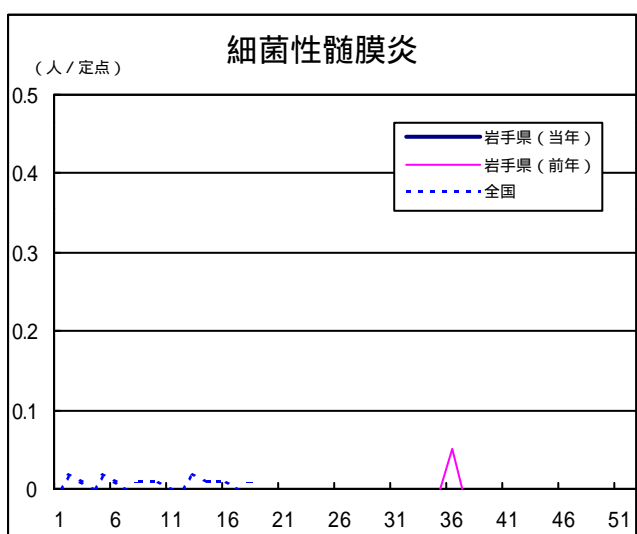
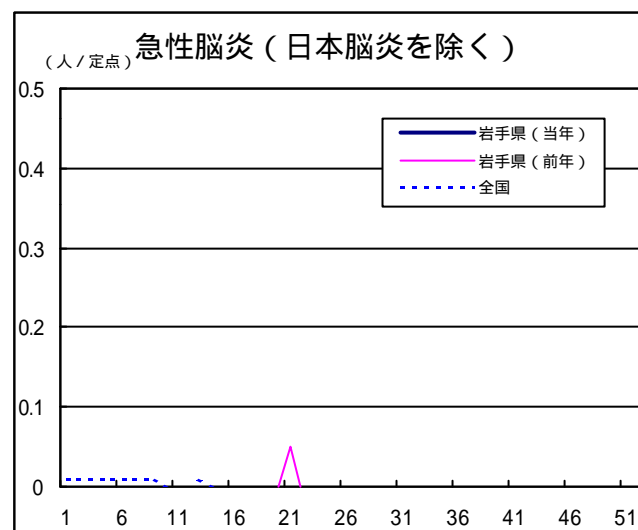
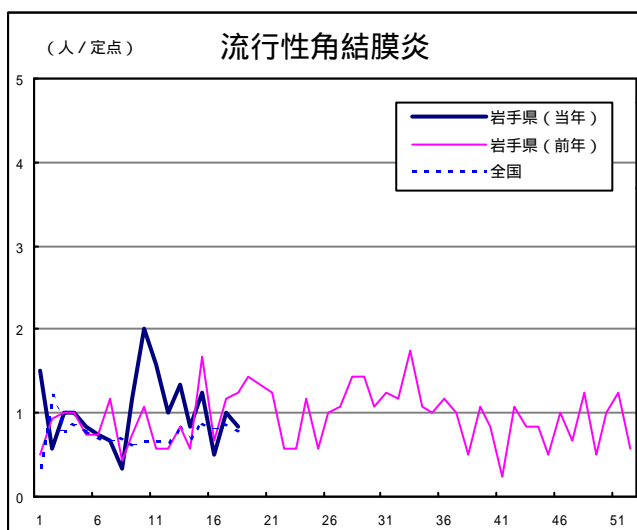
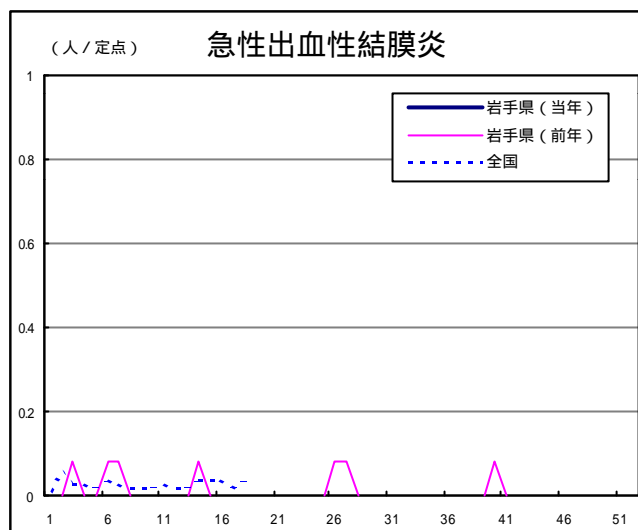
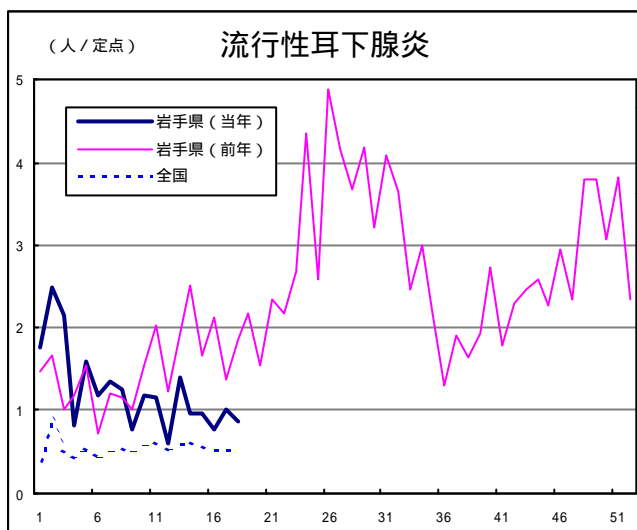
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

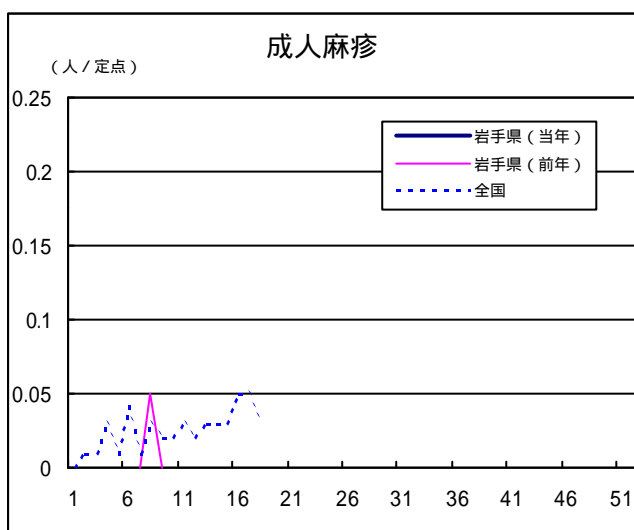
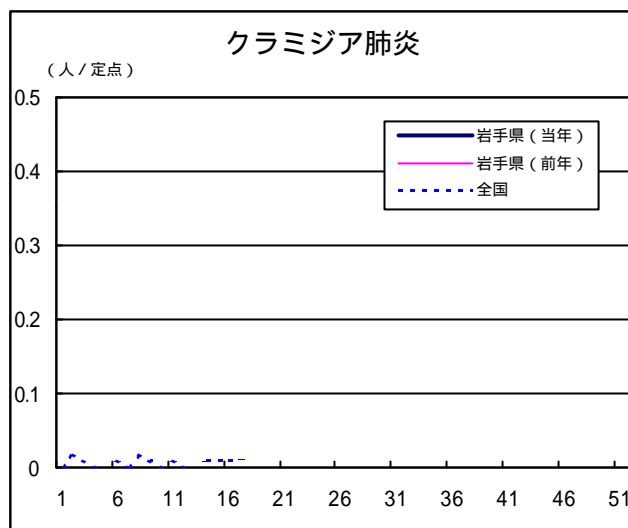
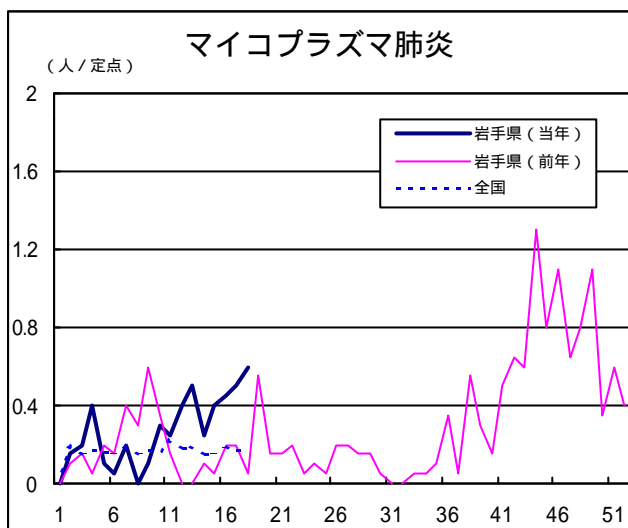
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第18週 平成15年5月9日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>